新潟県弥彦村　令和４年度実績

ふ る さ と 納 税 の 使 い 道

令和４年度は 38,397 件、約 6 億 6,098 万円のご寄付をいただき、
誠にありがとうございました。

全国のみなさまの温かいご支援のおかげで、
日々、様々な事業に取り組むことができております。

今後とも、弥彦村を応援いただきますよう、お願い申し上げます。

弥彦村公式キャラクター
ミコぴょん

■ふるさと納税事業経費　319,491 千円

返礼品等の調達および送付に係る費用や、広報、決済等、各種事務に係る費用として使用しました。

■図書館建設事業　103,603 千円

村民が集い学ぶ“新しい地域交流拠点”となる図書館を建設しました。

弥彦村図書館 らいわ弥彦　➤

■農業振興事業費　40,552 千円

弥彦村の特産品の一つである枝豆の選果作業の精度が従来よりも向上することで出荷品質水準の高位安定が実現し、産地としてのブランド力強化が可能となりました。

■区長会要望による工事　27,000千円

各区長から要望のあった地域内の道路舗装や側溝補修などを実施しました。

■寄附金積立基金　14,955 千円

ご寄付いただいた寄附金を有効活用するため、基金として積み立てました。

■子育て支援の推進　59,077 千円

出生から 18 歳までを対象としたさまざまなメニューの助成事業を実施するなど、常に住民目線でニーズの高いサービスに取り組み、子育て世代を経済的に支援しています。

■自然環境の保全と環境美化の推進　19,123 千円

自然と調和した村づくりをすすめるとともに、ごみなどの不法投棄を防止するために環境パトロールの実施や不法投棄防止のＰＲ活動、空き缶（ゴミ）拾い運動等に積極的に取り組んでいます。

■保健・医療・福祉の充実　43,027 千円

村民の健康づくり等を重点的に推進し、子どもの歯科保健対策（フッ化物洗口）先進地として、また、住民健診の受診率が県内でも高位を維持するなど、様々な実績をあげてきました。保健・医療・福祉が連携する包括的なシステムづくりを進め、連携する施策相互の機能連携を強化するなど努めています。

■農林・商工・観光等地場産業の振興　15,708 千円

農業振興に関しては、弥彦村ブランド米“伊彌彦米”や、弥彦村ブランド枝豆“弥彦むすめ”“伊彌彦ちゃまめ”“伊彌彦えだまめ”などの生産における所得向上、農地集積による生産性向上、担い手育成等を実施しています。
また、商工・観光振興に関しては、首都圏での観光宣伝、外国人旅行客へのインバウンド対策を含め、魅力ある観光地づくりを実施しています。

■交通安全・防犯・防災体制の強化　2,732 千円

災害に強い村を目指し、防災対策づくりに取り組んでいます。また、各集落において自主防災組織を編成し、定期的に全村防災訓練を実施するとともに消防団の士気高揚や組織強化の支援も実施しています。

■教育の充実、生涯学習・生涯スポーツの推進、芸術・文化の振興　9,903 千円

学力向上はもとより、学習方法の習得・学習習慣の定着を目指し、教員 OB をボランティア講師に迎え土曜日や放課後での算数・数字や英語指導を実施するとともに、国際化に対応して生きた英語を学ぶ ALT を配置しています。
また、生涯学習活動の拡大、スポーツや文化活動の活性化にも努めています。

■弥彦菊まつり・菊づくり後継者育成支援等　4,439 千円

「菊づくりの優れた栽培技術と弥彦菊まつりを次世代へ残したい。」という想いに、“菊づくり教室の開催”や“小学４年生の菊づくり指導”等の菊づくり後継者育成事業に活用しました。

■モンゴル国との国際交流の推進　1,366 千円

2015 年の彌彦神社御遷座百年奉祝行事“相撲場開き”に、当時、横綱日馬富士関、大関照ノ富士関と、角界を代表するモンゴル人力士が当村を訪れました。その際に、二人の力士から「母国モンゴルと日本の懸け橋になりたい」という思いを伝えられたことから交流が始まりました。
2016 年には、モンゴル国トゥブ県エルデネ村と友好都市協定を締結し、以来、隔年で双方の子どもたちを相互に派遣し合う教育交流等を行っております。